



一隅を照らそう
11月号

346号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



因縁生起

住職 中島 有淳

ロシアの侵攻は、止むどころかウクライナの反撃に、却って激しさを増してエスカレートしています。平和への交渉テーブルは仲々実現しそうにもありません。プーチンの戦争といわれるように振り上げた拳は納めるどころか、どこまでも続く勢いです。

この紛争の間に一体どれだけの人々が死亡したり負傷したり、その家族が嘆き悲しんだりしていることでしょうか。

また数多くの施設が破壊されています。こうした行為による人々の苦しみと心の傷は計り知れません。更にこの戦いが今後、人々に及ぼす影響を想像しますと、その憎しみ、反感は底知れず深く、平和には程遠いもので絶望的とすら感じます。

宗教がもたらす心の平和が、踏み躪られてしまっています。

私は戦後、日本のこの地(寺)で、父と母とを縁として生を受け、団塊の世代を多くの人のご縁を頂きここまで暮らしてきました。

その間には、家族、友人、先生、近所の方々、又、寺に集う檀信徒の方々、世間の人々と、計り知れない多くの人々との出会いと別れがあつてお世話になってきました。楽しかったこと、つらかったこと、腹立たしかったこと、叱られたこと...: 実に沢山ありました。それらのことは多くの方々と同じで、誰にでもあつたことでしょう。

仏教では「縁」という考え方を大切にします。つまるところ仏教は縁を説いていると、私は思っています。

この身もこの心も縁によつて成り立ち、縁によつて変わります。『網の目が互いにつながりあつて網を作っているように、すべてのものはつながりあつて』という諺があります。縁が成り立っているのは、表面上のことだけでなく多面的な要素そのもの全てを縁といえます。見えるもの見えないもの、人との出会いも無数の縁によつて成り立っています。

これは出会いだけに限りません。別離もまた縁といえます。まさに「会者定離」です。世界中で起きている種々な事件も身近な出来事も全て縁によつて起きています。例えば間違ひありません。

ロシアのウクライナへの侵攻も歴史的に見れば原因があり、この善悪は昨日、今日の出来事ではないといえます。それぞれの見方があるとはいえ、暴力での解決は無理があり、乱暴過ぎでさらに悲しい結果を招くだけでしょう。生や死を明らかにすることは仏法を学ぶ上での一大事であり、生活していく上での最重要課題です。

「一切の法は皆 是れ仏法」と位置づけ、日々の生活を心して心を通ばねばならないと知るのです。

それには我執(執着心)を捨て、こうして生きていることに感謝の気持ちを大切にしながら、毎日を「昨日より明日はもっとよい日にしよう」と心掛け生活することでしょう。

「縁によつて生き 縁によつて滅びる」とは史実によつても明らかです。

「人生は出会いによつて豊かになり、別れによつて深くなる」ともいいます。しみじみと味わいたい言葉です。

折りふしのはな

お芋ほり

秋晴れの空の下
子供達の歓声がひびく
みて 見て
こんなに大きいお芋も
わくすごい!
楽しい おいしい
お芋ほりです
(遊)



行事案内

○星祭供修行 十二月二十二日(冬至)

来年の運勢が冬至から変わりますので、悪運を転じて吉運となりますようにご祈祷致します。申込書をご利用下さい。(締切 十二月八日)

○七五三詣り(随時)

*お守りをお授け致します。

月例案内

◎毎月八日 午後二時

薬師如来祈祷会 観音経読誦

◎毎月十二日 午後二時

智泉院法要日(於・日本橋茅場町)

◎毎月十八日 午後二時

観音経読誦法要(於・神木観音堂)

◎毎月二十八日 午後二時

不動明王護摩供修行

*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒どうぞ

どなたさまでも
ご参詣下さい
(マスクはご着用下さい)

- 【11/19(土) 月例(※要事前申込)】
- ◆「止観(坐禅)会」9:30-10:30(¥500)
 - ◆「2年かけて『法華経』を読む会」11:00-12:00(¥300)
- 11月は「常不軽菩薩品第二十」、「如来神力品第二十一」、「囑累品第二十二」をお唱えします



みんなで歌いましょう

11/8 3時15分頃から(30分位) 広間で
老若男女 小さなお子さんも

どなたでもどうぞ

無料

久しぶりの
開催です(遊)

あとがき

○中国の習近平総書記が五年に一度の党大会で三期目が続投にブレキ役が退任し、これにより習氏の権力集中が強まり、独裁(10/22)体制が。中国はどうなっていくのでしょうか。

○英国のトラス首相が就任四十五日で突然の辞任。新首相は初のアジア系のスナク氏が一人出馬表明(10/24)で決定される。

○ついに山際経済再生相が辞任(10/24)。教団との接点が追求され引責やむなし。政治の世界の複雑さ、大変さ、あやうさを想像してしまします。

○十一月に入りますと冬至の『星祭』お正月の『開運初護摩』等のご案内を致します。本年も御申し込みをお待ちしております。○日一日と秋も深まって毛布も一枚増え、朝の明けるのが遅くなってきました。洗顔の水も冷たく、気合いを入れて一日が始まります。

さり気なく聞いて身にしむ話かな

富安風生